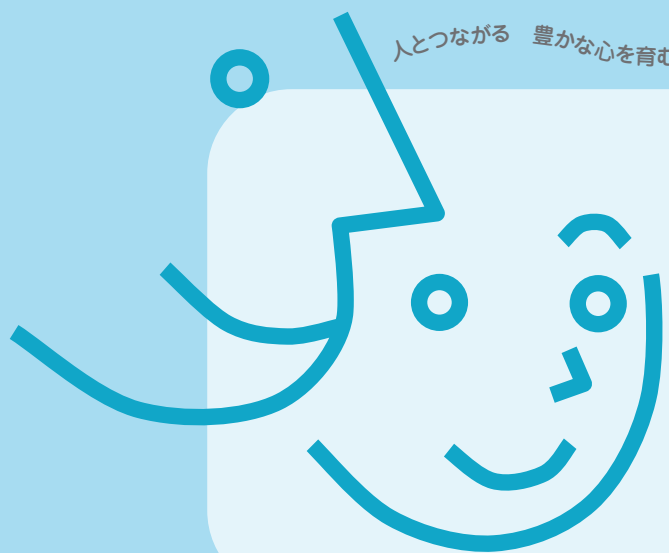
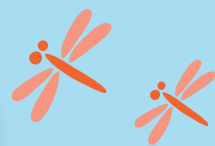


人とつながる 豊かな心を育む 未来にひろがる はむらの学び



はむらの 教育

「感動」と「知識」がいっぱい!!



プリモライブラリーはむら (図書館)



郷土博物館

特集 1 P2~3 図書館 「図書館システムが新しくなりました」

特集 2 P4 郷土博物館 「文化財と中里介山を知ろう！」



◀市公式サイト

編集・発行/羽村市教育委員会 〒205-8601 羽村市緑ヶ丘5-2-1 TEL042-555-1111 FAX042-578-0131
市公式サイトURL <http://www.city.hamura.tokyo.jp/> E-mail:s700000@city.hamura.tokyo.jp

No.112

令和7年(2025)
11月1日発行

特集1

プリモライブラリーはむら

図書館システムが新しくなりました

【問合せ】
図書館

☎554-2280

長期休館中に、貸出しや購入した書籍の取扱いなど、利用者の方々にもっと快適にプリモライブラリーはむらを利用していただくために、図書館システムの更新を行いました。

新たにできるようになったことや、更に便利になったことを御紹介します。

オンライン利用登録申請がスタート

皆さんは、プリモライブラリーはむらの利用者カードを持っていますか。
プリモライブラリーはむらの利用者登録が、オンラインで事前申請できるようになりました。

オンライン上で氏名や住所を事前に申請しておけば、来館した際に身分証明書（運転免許証、マイナンバーカード等）を提示するだけで、スムーズに利用者カードを受け取ることが出来ます。

この機会に登録・予約してみたいいかがでしょうか。



▲オンライン利用登録申請はこちらから

ホームページのリニューアル

利用される方が、更に見やすく、使いやすいデザインに変わりました。

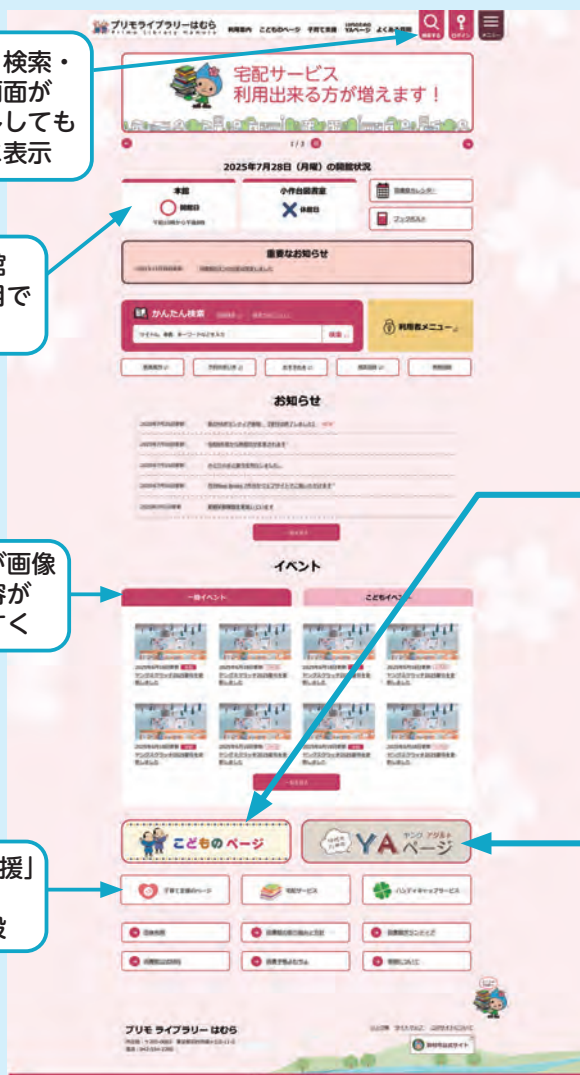


メニュー・検索・ログイン画面がスクロールしても画面上部に表示

各館の開館状況を一目でチェック

お知らせが画像付きで内容が分かりやすく

「子育て支援」「宅配」のページ創設



ほかにも、様々な変更点がありますので、ぜひ一度新しくなったホームページを御覧ください。
(右の二次元コードからアクセスできます。)

新公式サイトはこちら



「こどものページ」はポップに、「YAのページ」はスタイリッシュなデザインに！

インターネットでプリモライブラリー
はむらをもっと楽しく！

「MY本棚」で読書をもっと楽しく！

プリモライブラリーはむらのホームページにログインするとお楽しみいただける「MY本棚」に、新しい機能が追加されました。

①モード追加

今までのMY本棚では、書影が見え、本棚のように配置されていました。

今回の更新から、従来の「本棚」モードに加え、MY本棚内の書誌情報を確認できる「一覧」モード、MY本棚内にある書誌情報を印刷・ファイル出力できる「印刷」モードが追加されました。

②本棚を作成できます

これまでは、借りた本が自動で記録される「借りた本」に加え、利用者自身が記録する「これから読む本」「今まで読んだ本」の本棚を利用していたいております。

今回の更新では、以上の三つに加え、新たに自分オリジナルの本棚を作成できる機能が追加されました。

お気に入りの本や著者だけの本棚を作ることでもできますので、ぜひ自分だけの素敵な本棚を作ってみてください。

③本棚の中身をまとめて予約機能

MY本棚を「一覧」モードに切り替えると、本棚内に登録している本を選択して、まとめて予約カートに入れることができます。

検索機能、大幅向上！

検索窓にキーワードを入力すると、そのキーワードから予測された書籍が表示されるようになります。

また、検索結果から更に条件を絞り込むことができます。

公式Xで最新情報を

プリモライブラリーはむらの最新情報をより手軽にお楽しみいただくため、プリモライブラリーはむら（図書館）公式Xを開設しました。

Xでは、画像でのお知らせが可能になるほか、配信頻度が多くなるため、新着情報やお知らせ、イベント情報もよりタイムリーにお届けします。

この機会にぜひXをフォローして、最新情報を入手してください。



▲公式Xはこちら

これからも、市民の皆さんに愛される図書館づくりを目指していきます。
ぜひ、身近な学びと憩いの場として利用してください。

図書館での読書体験を増やしたくて、こんなところも見直しました

マンガ

貸出冊数を5冊に増加

今までマンガ資料は、蔵書数が僅少であったことや、破損しやすい資料の性質から、一人1冊までの貸出としていました。しかし、利用者の方々の更なる充実した図書体験のために運用方法を見直し、従来の1冊から5冊まで貸出冊数を増やしました。



児童&YA

書架を見直しました

児童及びYA（ヤングアダルト）について、更なる読書体験の充実のため、児童は絵本コーナーの整備、YAは「YA絵本」配置換え等を行いました。



分類	見直しの内容
児童	絵本コーナーの整備
YA (ヤングアダルト)	「YA絵本」を「大人絵本」に変更し、場所を3階絵画コーナーへ移動
	「YAメディア化資料」コーナーの新設
	修学旅行支援コーナーの廃止、「YA教養」コーナーの新設

特集2

郷土博物館

文化財と中里介山を知ろう！

文化財保護強調週間と「中里介山展」

毎年11月1日から7日までの一週間は、「文化財保護強調週間」です。この期間は、文化財に親しむことを目的とし、文化庁が設けたものです。

東京都では、この期間に合わせて、「東京文化財ウィーク2025」を開催し、都内各地で普段は公開されていない文化財の特別公開が行われます。

このほか、10月1日から11月30日まで、各地の博物館などで特別展やイベントが実施されています。

羽村市では、郷土博物館開館40周年記念事業として「中里介山展」を開催しています。詳細は、市公式サイトを御覧ください。



▲「中里介山展」
(市公式サイト)

開催中！

郷土博物館開館40周年記念事業
「生誕140年 中里介山展」

中里介山の出生から晩年までを、実物資料や写真で振り返ります。

期間 12月7日(日)まで
(午前9時～午後5時)
※月曜日休館
(祝日の場合は開館)

会場 郷土博物館学習室、
企画展コーナー



市内文化財とその活用

「羽村の民家(旧下田家住宅)」と
その生活用具

郷土博物館の屋外展示を構成している旧下田家住宅は、建物と生活用具1,210点を合わせて、国の重要有形民俗文化財に指定されています。

建物は、羽西一丁目に所在していました。昭和57年(1982年)には現在の場所へ移築復原しています。このときの調査で、床の間に使用されていた板材の裏側に墨書が見つかり、創建が弘化四年(1847年)であることが判明しました。

現在は、郷土博物館の開館日に公開しているほか、企画展や年中行事に合わせた展示の会場としても活用しています。

また、市内小学3年生の郷土学習支援の一環として、団体見学の受け入れを実施し、羽村の昔の暮らしを学ぶ機会を提供しています。

◀旧下田家住宅外観



▶創建年代の墨書がある板材



弘化四年
未十一月

□ 沢村
亀吉

▶墨書を解読したもの
※「□」は書かれて
いる文字が分からない
部分

文化財見学は、
マナーを守って

観光資源として文化財を公開することは、歴史や自然、文化など、地域がもつ魅力の発信につながる一方で、劣化や破損などによって文化財が失われてしまうリスクも伴います。

文化財を公開している場所へ行く時は、次の点に気を付けましょう。

①ごみを正しく始末する

ポイ捨てをしないことはもちろんですが、ごみ箱に捨てるときは、かさばらないように意識して捨てましょう。

②見学ルートを守る

順路ではない場所には立ち入らず、遊歩道など見学のために整備された道の上を歩きましょう。



トピック 羽村の文豪「中里介山」④ 28歳～36歳

「大菩薩峠」の連載

都新聞社への入社から約6年9か月後、大正2年(1913年)9月に「都新聞」、第1919号に「大菩薩峠」の第1回が掲載されました。

「大菩薩峠は上り三里、下り三里、領分は甲斐國に属して居りますれど、事實は武蔵と甲斐との分水嶺になります」の一文から始まったこの物語が、後に全41巻に及ぶ大長編のスタートだったのです。

単行本『大菩薩峠』の出版

都新聞への連載開始から4年5か月後の大正7年(1918年)2月、介山は私家版『大菩薩峠』を玉流堂書店から出版します。この書店は、介山が弟の中里幸作に開かせていたものです。

当時の印刷は、字の型(活字)を1字ずつ並べたものにインクをのせて紙へ刷る方法(活版印刷)で行われており、介山も自ら活字を探して並べていました。



都新聞「大菩薩峠」
第1回(複製)▶

【問合せ】 郷土博物館 ☎ 558-2561

教育相談室・ハーモニースクール・はむらを御存じですか

◆教育相談室

教育相談室では、心理の専門家（公認心理師等）が相談員として、市内在住の幼児から高校生程度までのお子さんとその保護者の相談を受けています。

◆電話相談（随時）
電話で、気軽に相談してください。

◆来室相談（予約制）
児童・生徒、保護者それぞれに相談員（公認心理師等）が担当します。

相談内容によって、プレイセラピー等も実施しています。教育・福祉・医療等の適した関係機関を案内します。
不登校等の悩みは、適応指導教室（ハーモニースクール・はむら）の入室についても御相談できます。
※電話での予約が必要です。

◆子供の悩み110番
市内在住のお子さん自身が、電話で相談員に相談できます。

電話番号
教育相談室
090-5258-1223
090-1406-1223
子供の悩み110番
090-3274-7830

お子さんのこんな様子でお困りでしたら、気軽に相談してください。



◆適応指導教室

ハーモニースクール・はむら

教育相談室内に併設されている「適応指導教室ハーモニースクール・はむら」は、様々な理由により、学校へ行きたくても行くことができない小・中学生を対象に学びの継続、社会的自立に向けた支援を行う教室です。ここでは、学習指導や体験活動などを通して、子供たちの居場所づくりと個別の支援を行っています。

◆主な活動

国語、算数（数学）、英語の基礎的・基本的な補充学習、体育や音楽、家庭科などの実技教科のほか、校外学習や、スポーツレクリエーション、栽培活動などの体験的な行事・活動も行っています。

◆見学・入学の相談

見学や入室の希望等、電話で相談してください。



▲教室では、個別や集団での学習をします。

電話番号
ハーモニースクール・はむら
090-3237-1331

【問合せ】教育相談室係（内線369）

はむらのコミュニティ・スクール通信



掲載中！

羽村市立学校のコミュニティ・スクールとしての取組を紹介する「はむらのコミュニティ・スクール通信」（不定期発行）を、市公式サイトに掲載しています。ぜひ御覧ください。



▲はむら通信
（市公式サイト）

【問合せ】
学校教育課指導係（内線376）

稲作体験の記録



市内全小学校の5年生が、根がらみ前水田で田植えを体験しました。当日は、多くの農家の皆さんを講師とし、保護者や地域の皆さんの協力の下、田植えを行いました。児童は、素足で田んぼに入り、一列になって等間隔で苗を植えていきました。

6月 田植え体験



▲田植え当日の様子

8月 力強く、大きく育った稲



10月 収穫

6月に植えた苗は大きくなり、きれいな黄金色の稲ができました。農家の皆さんの御協力を得て、5年生がみんなで植えた稲を収穫していただきました。



【問合せ】学校教育課指導係（内線 376）

▲収穫を待つ稲

プリモホール ゆとりぎ」から

ゆとりぎ開館20周年特別記念事業

「羽村市 星野富弘 花の詩画展」

期間：11月28日(金)～12月14日(日) ※月曜休館
 時間：午前10時～午後5時
 会場：ゆとりぎ展示室
 入場料：500円
 ※ゆとりぎ窓口で入場券を購入してください。
 (会期中のみ販売)

特別協力：富弘美術館

協力：(株)偕成社、(株)Gakken、いのちのことば社、グロリア・アーツ(株)、富弘美術館を囲む会、東京・三田支部、東京・神奈川支部、(一社)樹脂粘土野の花・野草アート協会



▲「難転」



▲星野富弘氏

オープニングセレモニー

日時：11月28日(金) 午後1時～

会場：ゆとりぎ交流広場

(雨天時、大ホール ホワイエ)

入場料：無料

※直接会場にお越しください。

ワークショップアート体験

〈樹脂粘土で野草をつくろう〉

日時：11月30日(日)

①午前11時30分～ 小学生とその保護者15組

②午後2時～ 中学生以上15人

※申込順

会場：ゆとりぎ創作室1

参加費：2,500円(材料費)

講師・共催：(一社)樹脂粘土野の花・野草アート協会

【問合せ】生涯学習推進課 ☎570-0707

ギャラリー講演

〈星野富弘と詩画の世界〉

日時：12月6日(土) 午後2時～

会場：ゆとりぎレセプションホール

定員：50人 ※申込順

参加費：無料

講師：相崎ちひろ氏(富弘美術館学芸員)

星野富弘メモリアルコンサート

日時：12月7日(日)

午後1時30分開場 午後2時開演

会場：ゆとりぎ大ホール

定員：844人(全席指定席)

※未就学児入場不可

入場料：一般 2,000円

大学生・高校生 1,000円

中学生以下 500円

※ゆとりぎ窓口、ゆとりぎインターネットチケットサービスにて販売中

杏林大学学生連携企画講座

名画の裏側へようこそ
～観察することで見えてくるもの～

日時：11月30日(日) 午後1時30分～

会場：ゆとりぎ講座室1

定員：60人 ※申込順

参加費：500円

講師：阿部成樹氏(中央大学文学部教授)

企画運営：杏林大学外国語学部
観光交流文化学科

▲申込はこちらから



▲阿部成樹氏

▲ゆとりぎインターネット
チケットサービス

全国大会などに出場した青少年の保護者を

対象に補助金を交付します

市では、スポーツ・芸術文化の振興を目的に、市内に住所を有する青少年が全国大会などに出場した場合、その経費の一部を補助金として保護者に交付しています。

※青少年：満18歳に達する日以後の最初の3月31日までにある方

対象となる大会

国、地方公共団体、公益財団法人、又はその加盟団体などが主催する全国的な規模及び水準の大会、国際大会

補助対象者

全国大会などに個人又は団体で出場し、かつ、当該出場が次のいずれかに該当する青少年の保護者

○羽村市を含む地域を対象とする東京都大会、関東大会など

○の予選を経て出場したもの

○スポーツ大会の実施要項などで規程された標準記録などに到達して出場したもの

○競技団体などの推薦を受けて出場したもの

補助対象経費
 青少年の大会出場に係る交通費及び宿泊費
 ※交通費：最も経済的かつ合理的と認められる経路で、公共

の交通手段(タクシーを除く)を使用した場合に要する実費相当額

※宿泊費：全国大会などの開催要項などに定められた最も安価な宿泊費の2分の1、全国大会などの開催要項などに定めのない場合は、1泊4,000円を上限とし、日帰りがある可能な地域においては、原則として交付しません。

交付の申請期間

補助対象者が補助金の交付を受けようとするときは、当該全国大会などが開催された日の属する年度の末日まで

交付額等

○補助金額(交通費及び宿泊費の合計)の交付限度額

●個人：15,000円

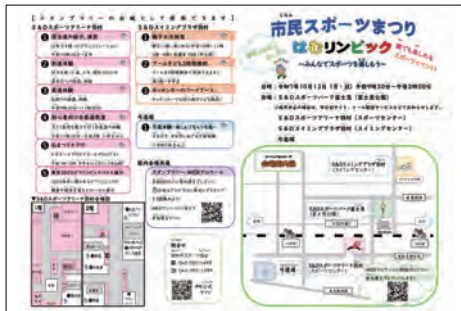
●団体：300,000円(一人当たりの交通費及び宿泊費の合計額(限度額15,000円)に補助対象者数を乗じて得た額と300,000円を比較して低い額を団体の交付額とします)

※国際大会(国外開催)は、市長が別に定める額
 ※詳しくは、市公式サイトを御覧いただくか、問い合わせしてください。

障害者スポーツの推進に向けた取組

10月13日(月・祝)に実施した市民スポーツまつりでは、以下の取組を行いました。

- 会場ごとに色分けされたふりがな付きリーフレットの配布(福祉関係施設など)



▲ふりがな付きリーフレット

- 福祉関係団体によるブースの運営

都立羽村特別支援学校の様子(フライングディスク体験アキユラシー)



- 東京2025デフリンピックのPR

11月15日(土)から26日(木)まで開催される、耳がきこえない・きこえにくい(デフ)アスリートのための国際総合スポーツ競技大会「東京2025デフリンピック」に向けて、PR活動を行いました。



『しゅわしゅわ☆デフリンピック(手話の動きを取り入れたダンス)』はむすぽジュニアチアダンス

『サインエール(デフアスリートに届ける新しい応援スタイル)』羽村市ろう者協会など



【問合せ】スポーツ推進課 ☎ 555-0033

「S&Dスポーツアリーナ羽村」から

令和7年度 羽村市教育委員会表彰候補者の推薦について

教育委員会では、羽村市の教育、学術、文化、技芸、スポーツなどの振興に貢献し、その功績が顕著な個人、又は団体を表彰します。

表彰対象となる期間
令和7年1月1日～12月31日

児童・生徒の表彰

クラブ活動、部活動、又はその他の活動において、関東大会レベル以上の競技会、東京都レベル以上のコンクールもしくはそれに準ずるものに出場、又は出品し著しい成績を上げたもの

児童・生徒などの模範となる活動を行い、その功績が顕著であるもの

教職員の表彰

学校教育の振興、発展に寄与し、特にその功績が顕著であるもの

部活動、又はボランティア活動などにおいて、児童・生徒の指導に著しい成果を上げたもの

教育功労者などの表彰

委員会が委嘱、又は任命し各種委員で、満10年以上その職にあった者

各種教育団体の役員として満12年以上その職にあった者

教育、学術、文化、スポーツなどの活動において市民の模範となる活動を行ったもの

推薦の締切 令和8年1月23日(金)

*推薦方法など、詳しくは問い合わせてください。

【問合せ】生涯学習総務課総務係(内線354)

教育随想

人手不足が全国的な課題となっています。皆様も実感する場面が増えているのではないのでしょうか。商店の後継者不足、介護や福祉の担い手不足、さらには学校の先生が不足していることなど、地域の経済や教育にまで影響が広がっています。専門職の数が足りず、サービスの質の低下が心配される分野も少なくありません。中でも、医療や福祉、教育など、私たちの生活の基盤となる分野の質が低下することは、私たちの暮らし全体に大きく関わってくる問題となります。

その中で改めて考えたいのは、「人を育てる」という視点です。単に数を増やすだけではなく、一人一人が力を発揮できるように育成することが欠かせません。学校教育はその基盤ですが、学びは学校だけで終わるものではありません。社会に出てからも新しい知識や技術を学び、挑戦を重ねられる環境が必要です。そうした姿勢を支え合うことが、地域全体の力を底上げしていくことにつながります。

羽村市のように人と人とのつながりが残る地域では、大人が学び続ける姿を子供たちに見せることも大切な教育の一部です。地元の行事に参加したり、地域の発展に力を尽くす大人の姿は、子供たちに「社会を担う」という実感を与えてくれるはずです。

人手不足という現実には厳しいものですが、その中には「人をどう育てるか」という大切な問いが隠されています。これからの羽村市を支える世代に、私たちはどのような力を託し、どうやって地域全体で支えていくのか。今こそ考える時が、来ているのではないのでしょうか。



教育委員会委員

永井 英義

特定非営利活動法人羽村市スポーツ協会及び羽村市文化協会は、市や教育委員会と協働して、市のスポーツや文化を推進していくための団体です。

特定非営利活動法人 羽村市スポーツ協会

TEL 555-11698

加盟団体の紹介⑥

羽村市スキー連盟

昭和38年、羽村町体育協会の発足と同時に、当連盟の所属団体である羽村スキークラブ(当時の羽村町スキー会)が協会に加盟しました。また昭和53年には、全日本スキー連盟資格の指導員を小平市スキー連盟から迎えました。更に、東京都スキー連盟にも加盟し、羽村市スキー連盟として新たに組織変更を経て、現在に至っています。

当連盟では、市内中心の子供たちにスキースポーツを通して、雪山における自然環境下での体験や、団体生活・団体行動の在り方などを学ぶ場として、ジュニアアルペンスキー教室を開催しています。

また、60歳以上シニアの方々を対象に、カービングスキーを活用して、健康的で安全なスキー技術を取り入れたスキー体験を実施しています。併わせて、技術講習教室も開催し、羽村市総合スポーツ大会やスキー競技などを含め、スキースポーツの普及とその発展に努めています。

これからもスキー連盟は、スキースポーツの担い手として、広く市民の皆さんに親しみやすく、そして参加しやすい行事を実施したいと考えています。



羽村市文化協会

TEL 579-2772

第107回サロンコンサート

「ハンドベルでメリクリスマス」(入場無料)

ハンドベルの響きと共にクリスマスソングをお楽しみください。

日時 12月14日(日) 正午～午後0時45分

会場 ゆとろぎ創作室1(入場無料、直接会場へ)

出演 ハンドベルクワイヤン羽村

曲目 上を向いて歩こう、Silent Night、Joy to the World 他

ゆとろぎでお正月を遊ぼう!

初釜、書き初め、初生け、コマ回し、羽根つきなどを体験してみませんか。

日時 令和8年1月11日(日) 午前11時～午後2時

会場 ゆとろぎホワイエ、交流ひろば

第108回サロンコンサート「邦楽演奏」(入場無料)

日時 令和8年1月11日(日) 正午～午後1時

会場 ゆとろぎホワイエ(入場無料、直接会場へ)

出演 羽村三曲会、詩吟サークル西吟会、

南京玉すだれ仙の会、羽村かつばれさくら会

第6回「みづかな一歩」展

手芸、俳句、書、絵手紙、いけ花など文化協会加盟団体会員の身近な小作品を展示します。

日時 令和8年2月19日(木)～22日(日) 午前10時～午後4時

(初日午後1時～、最終日午後3時終了)

会場 ゆとろぎ展示室 他

*初めての一步体験教室 参加募集中!

日時 令和8年2月21日(土)

締切 12月21日(日)

※文化協会加盟団体会員(部門問わず)で、個人での応募で小作品に限ります。

「はむらの教育」を御覧になった意見・感想をお聞かせください

掲載内容の充実を図ることを目的として、御覧になった意見や感想をお聞かせください。頂いた意見等は、今後の紙面作りの参考とさせていただきます。



◀意見等の
入力フォーム

INFORMATION

プリモホールゆとろぎ
Tel 570-0707
プリモライブラリーはむら(図書館)
Tel 554-2280
郷土博物館
Tel 558-2561
S&Dスポーツアリーナ羽村
(スポーツセンター)
Tel 555-0033
S&Dスポーツアリーナ羽村
(スイミングセンター)
Tel 579-3210
弓道場
Tel 555-9255

羽村東小学校
Tel 554-5663
羽村西小学校
Tel 554-2034
富士見小学校
Tel 554-6449
栄小学校
Tel 554-2024
松林小学校
Tel 554-7800
小作台小学校
Tel 554-1431

羽村市役所(代表) Tel 555-1111
武蔵野小学校
Tel 555-6904
羽村第一中学校
Tel 554-2012
羽村第二中学校
Tel 554-2041
羽村第三中学校
Tel 555-5131
教育相談室
Tel 090-5258-1223
適応指導教室
Tel 090-1406-1223
ハーモニースクール・はむら
Tel 090-3237-1331